

道徳教育全体計画

紀之川中学校

関係法規等
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校教育目標
あなたがいて よかったと 思われる人になろう
(めざす生徒像)
・自ら求める生徒 (主体性)
・自ら省みる生徒 (連帯性)
・自ら創る生徒 (創造性)

・時と場に応じた適切な言動
・きまりを守り義務を果たす姿勢
・向上心を持った、積極的な生き方を求める態度

各教科
〈国語〉
思考力や想像力を養い豊かな言語活動や豊かな心情を育てる。
〈社会〉
我が国と国際社会についての理解を深め、社会事象を公正に判断する力と態度を育てる。
〈数学〉
事象を論理的に思考する能力を高め、活用して考えたり判断したりする態度を育てる。
〈理科〉
生命を尊重し自然愛護の精神を養うと共に、科学的な見方考え方を育てる。
〈音楽〉
音楽を愛好する心情や音楽に対する感性を磨くとともに、豊かな情操を養う。
〈美術〉
創造する喜びを味わわせるとともに、豊かな情操を育てる。
〈保健体育〉
運動での競争やチームプレーの経験を通して、公正に取り組み互いに協力する態度を育てる。また、健康・安全についての理解を深める。
〈技術・家庭〉
望ましい生活習慣を身につけ、生活を創造する能力を育てる。
〈英語〉
我が国や外国の文化を深く理解し、国際的視野に立って行動する態度を育てる。

めざす学校像
(生徒が楽しく充実した学校生活を送ることのできる信頼される学校)
・互いに個人を尊重し合い、生徒一人ひとりが自分らしく生活できる学校
・自己の生き方やあり方について深く考える力を育てる学校
・豊かな人間性や社会性を育てることを大切にす学校 (抜粋)

総合的な学習の時間における指導
学び方やものの考え方を身につけ、問題解決や探究活動を通して、道徳的実践力を培う。

道徳教育の目標
よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

特別活動
学級集団の一員として自覚し望ましい集団生活や人間を築くための力を育てる。
個人や社会の一員としてのあり方を求め将来の生き方や進路を選択できる力を養う。

「特別の教科道徳」の指導方針
・年間計画に基づいて、道徳的判断力の向上や道徳的実践力を高める
・各教科や特別活動、総合的な学習の時間と関連を図りながら、人間としての生き方について考えさせる
・家庭、地域社会と連携しながら、道徳的実践力を育てる
・「私たちの道徳」「希望へのかけはし」の指導にも留意すること

生徒会活動
自発的、自治的な活動を通して、自己の責任を果たす態度を育て、学校生活ひいては社会生活の充実と向上に努める態度を養う。
学校行事
行事を通して、集団の秩序を守り、連帯意識を高め、お互いの絆を深めることにより、責任感と協力する態度を育てる。

各学年の重点目標		
第1学年	第2学年	第3学年
1. 中学生としての自覚を持ち、規律ある生活を送るため、望ましい習慣を身につけることの大切さを自覚し、自ら律し、生活を正そうとする意欲と態度を培う。	1. 自己を見つめ、集団の中での自己の役割や責任の自覚を通して、自己を向上させている態度を培う。	1. より高い志、目標を持ち、粘り強く取り組み、自分の人生を切り開いていこうとする態度を培う。
2. 集団の中でそれぞれの立場を尊重し、色々なものの見方や考え方があることを理解し、他に対する思いやりや相互に尊重し合う姿勢を育む。	2. 友情を尊び、それぞれの個性や立場を尊重し、お互いを認め、理解し、よりよい人間関係を築いていく姿勢を育む。	2. 命の尊さを理解し、相互の人格や個性を尊重し、多様なものの見方や考え方について謙虚に学ぶ姿勢を育む。
3. 自分の行動に責任を持ち、目標に向かって最後までやり遂げようと主体的に取り組む姿勢を培う。	3. 地域や社会との交流を通して、勤労の尊さや意義を理解し、積極的に関わっていかうとする姿勢を培う。	3. 社会について理解を深めるとともに、家族や周囲の人々に敬愛と感謝の気持ちをもって生きる姿勢を培う。

生徒指導
・善悪の判断をしっかりとできる生徒を育てる。
・自他の生命を大切にし、節度ある生活態度を養う。
・社会性を育て、規範意識を持った生徒を育成する。
・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携し、教育相談活動を充実させる。

特別の教科 道徳
道徳教育の目標に基づき、より良く生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

環境の整備
生徒の豊かな心を育て、道徳的実践意欲を高めるような環境づくりに努める。
・生徒と教員、生徒相互の望ましい人間関係作りを努める。
・図書室の整備・充実
・教室に学校教育目標を掲示する。
・学習環境の整備

家庭・地域社会との連携
・コミュニティスクールを通じて今まで以上に開かれた学校づくりに努めるとともに、学校運営に地域や家庭の声を生かしていくように努める。
・若宮ガーデンを中心に、生徒会、育友会と地域の方々との花の植栽を通じて、地域と学校、保護者を結びつけるとともに、心の豊かさを広げる活動に取り組む。

特色ある教育活動との関連
・和歌山大学学生ボランティアの力も借りながら、定期テスト前の補習や長期休業中の補習を通じて、生徒個々の基礎学力の向上を図る。
・本校らしい手作りの卒業式を創造する
・朝読書の推進

教師と生徒、生徒相互、教師相互の共感的な人間関係が土台となる